2022-23 年度 第 3 回（公社）日本動物学会関東支部委員会 議事録
日時：2023 年 3 月 2 日（木）18:00-19:55

会場：オンライン会議（webex）
出席者（敬称略)：和田、伊藤、神田、三浦、吉田、田中、谷口、深津、小柴、二橋、二階堂、馬谷、守野、乾、久保、林、山元、宮本、中野

＊＊＊＊＊＊＊＊

報告事項

１）支部長報告（和田支部長）

2022 年度関東支部大会及び、2023 年度の講演会、支部大会の準備も進めていきたい。

２）関東支部大会（明治大学・生田キャンパス、2023 年 3 月）の準備状況（資料１）

資料に基づいて、乾特任委員から報告があった。

・登録は一般 130 名、高校生 54 名の 184 名。スタッフ等含めると 200 名程度の予定。
・演題は一般 54、高校生 25 の 79。学内からの参加を見込み一般は 60 程度となる予定。
・資料では高校生の演題が 27 となっているが、重複があったので、実際は 25。
・発表時間は想定通りの 1 演題 12 分が確保可能。
・一般発表は 3 会場とし、確保してある残りの 1 会場は休憩室とする予定。
・飲食可能な場所はキャンパス内にあり、それを要旨集等に明記する。
・各会場の定員に関して、大学としては席をつめての使用を許可している。
・発表内容の秘密保持に関して、各セッションの最初に座長が説明し、要旨集等にも明記する。
・高校生のポスター発表もぜひ見てほしい。

審議事項

１）2022 年度支部総会資料について（資料２）

資料に基づいて、小柴委員（庶務)、二橋委員（会計）から報告があった。

・会員数の減少、特に一般会員の減少が目立つので、積極的に勧誘してほしい。
・2023 年度予算案に関して、繰越金があるので、多少の支出の増加は対応可能。
・旅費・交通費は、支部講演会講演者の旅費、および委員会の際の委員の旅費を含む。
・今年度の会計監査が丹羽隆介会員（筑波大学)、来年度が古藤日子会員（産業技術総合研究所）として内諾を得ている。

２）関東支部公開講演会の準備状況について（資料３）

資料に基づいて、馬谷委員（企画）から報告があった。

・7 月 22 日、オンライン、講演者３名も決定。
・予算は昨年度のものを踏襲する。
・広報に関しては昨年度の方法を踏襲するが、タイミングは１ヶ月ほど早める。
・終了後のオンデマンド配信は予定していない。
・2024 年度の実施形式に関して、ハイブリッドは可能か、など確認があった。
・オンライン、ハイブリッド、対面、それぞれの利点、欠点に関する議論があった。
・2024 年度の実施形式に関しては、2023 年度講演会でアンケートを実施する。

３）2024 年 3 月支部大会について（資料４）

資料に基づいて、久保特任委員、林特任委員から報告があった。

・学会会場は、人数、価格を検討した結果、以下２候補を軸に考える。
　○理学部１号館のみ（課題：別会場間の中継、高校生ポスター発表会場など）
　○武田先端知ホール（課題：工学系研究科の責任者の必要性、会場定員など）
・懇親会会場は、価格を考慮し、食堂の利用や近隣のレストランの貸切も検討する。
・参加費を徴収する場合も、学生会員からは徴収しない方向で検討している。
・高校生はポスター発表を基本とする。
・今後、いくつかの会場を仮予約し、メールで審議を進める。

４）その他

特になし

次回支部委員会は 7 月 22 日の公開講演会前、7 月中旬頃に開催予定